

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
病態生理学特論		2単位30時間(15コマ) 講義科目	博士前期1年次 前期開講	☒可・不可 (下記7参照)
科目責任者	神成 一哉			
担 当 者	神成 一哉、今 淳、大山 博史、尾崎 勇（非常勤）			
1. 科目のねらい・目標				
医療及び福祉介護の現場で日常遭遇し、適切な対応をとる必要のある疾患の成因，病態，治療に関する基本的事項および最新の知見を概説し，実務に役立つように知識を整理して理解してもらうことを目標とする。特に近年の新型コロナウイルス感染症に関する理解に不可欠な免疫学の概要を学習することに注力する。 なお，多くの講義は看護師免許を有する受講者を対象とした臨床病態生理学特論と合同で，同一の講義を行う。				
2. 授業計画・内容				
回	テーマ	担当		
1	免疫学の基礎 1	神成		
2	免疫学の基礎 2	神成		
3	免疫学の基礎 3	神成		
4	免疫学の基礎 4	神成		
5	神経難病	神成		
6	循環器疾患と血圧の進化論	尾崎		
7	腸内環境と種々の病気	尾崎		
8	脳のリズムと記憶	尾崎		
9	プレゼンテーションの生理学	尾崎		
10	皮膚のアンチエイジング医学 1	今		
11	皮膚のアンチエイジング医学 2	今		
12	遺伝・免疫・アレルギー性皮膚疾患 1	今		
13	遺伝・免疫・アレルギー性皮膚疾患 2	今		
14	精神疾患 1	大山		
15	精神疾患 2	大山		
3. 教科書、参考書				
浅野嘉延・吉山直樹編 看護のための臨床病態学 改定5版 南山堂 ISBN-13：978-4-525-50515-8 萩原清文（著） 好きになる免疫学 第2版 講談社 ISBN-13：978-4065139035 齋藤紀先（著） 休み時間の免疫学 第3版 講談社 ISBN-13：978-4061557185				
4. 成績評価方法				
講義への参加態度（30%）とレポート（70%）で評価する。				
5. 受講要件				
なし				
6. 社会人学生に対する配慮				
事前に受講生から受講可能な日を確認し，講義日程を決める。可能であれば夏季集中講義も検討する。				
7. その他				
基本的には対面授業とするが，日程や内容によってはオンライン受講も可能である。その場合はwebexを使用する。 オンデマンド受講については，事前に担当教員と協議の上，認められた場合は実施可能である。またオンデマンド受講の場合はレポート課題で評価する。				